

八竜緑地

みどころMAP

2026年1月

冬芽と八龍神社参詣

■見てみたい冬芽

■冬に元気です。

●木の実

★地質・湿地

★八龍神社の鬼板

★八事層

★湧水湿地

★唐山層

★湧水湿地

●木の実

●木の実

■ムラサキシキブ

■エゴノキ

●木の実

●木の実

●木の実

★湧水湿地

■マルバアオダモ

■コブシ

■ナワシログミ

■モチツツジ

■リョウブ

■タカノツメ

■クロミノニシゴリ

●木の実

■サワフタギ

■ハルリンドウ

■トウカイコモウセンゴケ

★まだ猪高層です。

◎湿地のふるさと

守山丘陵の地質

◎冬芽のいろいろ

◎縁起が良い

身近な植物

<<新春ビンゴ>>

▶待ち時間のクイズ

「馬くわす」の別名をもつ植物があります。

センニンソウともう1つは？

ヒントは集合場所のフェンスで見られる植物です。独特の匂いが名前の由来です。

次回、観察

2026年2月1日(日)

「真冬の八竜緑地」

毎月第1日曜日

集合場所：守山環境事業所

時間9:30~12:00

【お願い】観察会資料 1部100円ご協力お願いします。

予約不要
雨天開催



水源の森と八竜緑地を守る会

■アベマキ

■ハリエンジュ

■ヌルデ

■クサギ

業所

新春ビンゴに登場する絵の由来です。



ハリエンジュ

槐（えんじゅ）に似た木で、とげをもつことから「針槐」です。耐寒性が強く、乾燥した荒地や開墾地に生え、強健で成長が早い。

槐（えんじゅ）は延寿（エンジュ）」として長生きに繋がります。鬼門の方角や玄関に植えます。「槐」の字が当てられたそうです。



ヤツデ

大きな葉を「手招き」に見立て、飲食店の店先に植えて客を招くという商売繁盛の木です。



つつじ

次々に花が咲くことから「幸せが長く続く」といわれます。寿命が長いことから、家庭の健康を祈願して植えられることもある



ヒイラギ

ヒイラギは魔除けとして用いられています。節分には柵（ヒイラギイワシ）を門口に飾り、鬼が入れないようにする風習があります。また、家の北東（表鬼門）の方角にヒイラギを植えると魔除けになると言われます。



マルバアオダモ 丸葉青櫛

灰色の冬芽は特徴的、なんとなく金属ポイ。細かい粉状の毛に被われています。

材木は、硬く丈夫で、弾力性に優れている野球の木製バットやテニスラケットで利用されてきました。



タカノツメ 鷹の爪

冬芽が鷹の爪に似ていることから。別名のイモノキは落ち葉が発酵すると焼き芋（サツマイモ）の甘い香りがする。



リョウブ 令法

この木は厳寒期の1月に芽鱗を脱いでしまいます。

芽鱗を脱ぐ際、頂部から剥がれ落ちるのではなく、基部からめくれ上がるようになり、これが帽子を被っているように見えます。

芽鱗が落ちた後はまるで裸芽になってしまいます。



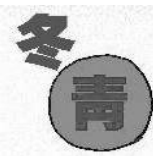
サカキ 榊

冬芽のかたちが弓なりで先が尖っています。常緑樹で一年中青い生命力・繁栄・清浄を象徴します。縁起が良い：家内安全商売繁盛厄除け・清め



ナンテン

日本では漢字の読みが「難転」に通じるという語呂合わせにより、江戸時代から縁起の良い木とされ、火災除けや魔除けのため玄関先、トイレ付近、鬼門の方角に植えられた。



ソヨゴ 冬青

葉の表面を火であぶると、葉の内部の水分が水蒸気となって葉裏の皮が圧力で「ふくらみ」、弾けてパチパチと音を立てる。

地域によってはお正月などの神事の際の神棚に供える玉串としても使用されます。葉を火にくべたときに破裂音を立てることが、魔を祓うとして重要視されたとも言います。

センリョウ 千両

マンリョウ 万両

赤い実をたわわにつけ、縁起物としてお正月の装飾に用いられる植物です。小さな丸い実をたくさんつける様子を、お金がたくさんたまった様子に例えたことに由来しています。

赤い実は富と繁栄を表しているとされるので

百両：カラタチバナ（唐橘）

十両：ヤブコウジ（藪柑子）

一両：アリドウシ（蟻通）

ヤマコウバシ 山香ばし

「山香ばし」という名前の木です。冬でも葉が「落ちない」ことにかけて、受験生のお守りとして使われるようになった。

アオキ 青木

山地や里山に広く分布する常緑低木です。日陰に強く、林の下や庭木としてよく見られます。年中葉が青々としているので繁栄の意味と冬に赤い実をつけるので実がなるので子孫繁栄・実り・福を呼ぶ。

ネジキ 捻木

ネジキの1年生の枝は赤くてきれいです。飛騨ではこの赤い枝に紅白の小さな餅をまきつけて花餅として小正月の飾りとします。

三大美芽

コクサギ、ネジキ、ザイフリボク

ハルリンドウ 春竜胆

リンドウは漢字で「竜胆」と書きます。古くから生薬として使われてきたリンドウはとても苦く、「まるで竜の胆（肝）のように苦い」ことから中国で「竜胆（りゅうたん）」と名付けられました。

マツ 松

神様が降りてくるのを「待つ木」という意味。正月の門松は、年神様を迎え、滞在してもらうための依代（よりしろ）。神事・縁起木としての性格とよく合う語源説。



ジャノヒゲ（蛇の髭・尉の髭）

能に使われる尉面（じょうめん：老翁（おきな）という役のための仮面）の髭（ひげ）に似ていたことから、元々はジョウノヒゲと呼ばれていた。

冬芽の観察

冬芽（とうが）：成長に適さない冬の期間、休眠して過ごす。
冬芽を休眠芽とも言います。
芽鱗（がりん）：芽を包む鱗（うろこ）状のもの

■冬芽のかたち

鱗芽には1年分の葉と枝がちじまって入り一斉に伸びる。
裸芽は順次枝・葉を伸ばす。



裸芽（らが）
・芽鱗をもたない芽



隠芽（いんが）
・葉痕に隠れている芽



■冬芽の中



葉芽（ようが）
・葉になるだけの芽

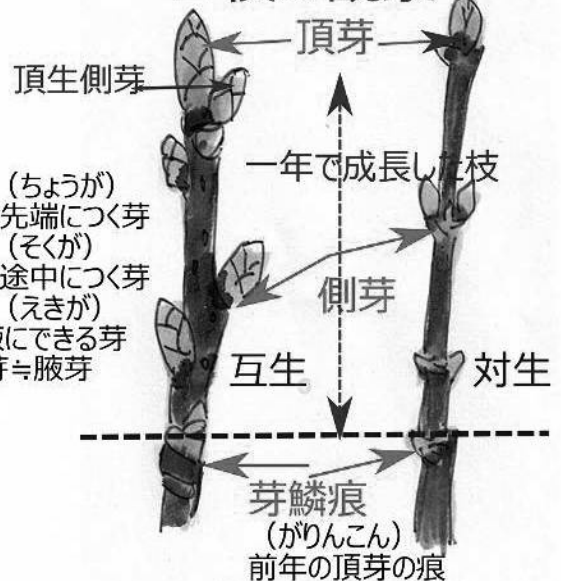


花芽（かが）
・花になる芽



頂芽（ちようが）
・枝の先端につく芽
側芽（そくが）
・枝の途中につく芽
腋芽（えきが）
・葉腋にできる芽
側芽＝腋芽

■枝の観察



■葉痕の観察

葉痕は木の種類で違いがあります。
ハート形、V字形・・・
顔に見えるものもあります。
点に見えるのは維管束です。



葉痕（ようこん）
・葉が落ちたあとの痕跡

■開出・伏生

枝に対して冬芽（側芽）が付く角度

開出（かいしゅつ）
枝に対して立ち上がる。



伏生（ふくせい）
枝に沿ってつく。



■冬芽のかたち



■葉痕のかたち

葉腋（ようえき）
・葉が枝につくところ、葉と葉柄の間

半円形

だ円～円

三日月形

U 字形

V 字形

クローバ形

三角形



■芽の並び方

互生（ごせい）
・芽が交互に付く
対生（たいせい）
・芽が対になる。



短枝（たんし）
・枝の伸びが

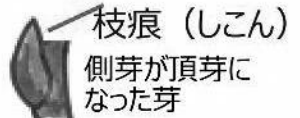
長枝（ちようし）
・枝の伸びが長い枝



■主芽・副芽



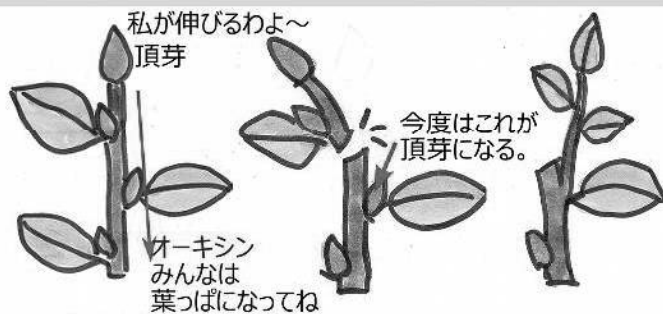
■仮頂芽



冬芽のはなし

頂芽優勢(ちょうがゆうせい)

複数の芽をつけた植物では、「頂芽優勢」というルールがあります。一番上にある頂芽が伸び、葉の付け根にある側芽は伸びないという仕組みです。



頂生側芽(ちょうせいそくが)

枝(シュート)の先端に、大きめの複数の冬芽をつくる、これが頂生側芽です。頂生側芽は春に開芽します。ただし、頂生側芽が全て開芽するわけではない。コナラ、アベマキ、アラカシは枝の先端に多数の冬芽を付けますが、その中心には頂芽があり、その周りが側芽です。先端の芽の塊は、春になると「一気に枝を伸ばし、大量の雄花をぶら下げ、ドングリ(雌花)も準備する」という、ものすごくたくましい樹木です。



ガマズミの頂生側芽

ガマズミの枝先につく冬芽はすごい不思議です。冬芽が1個のもの、2個のもの、3個のものがあります。1個だけの冬芽は頂芽ですね、2個は頂生側芽です。先端に花(または実)がついた場合、花の軸は枯れて落ちます。するとその付け根にいた2つの側芽が先端に残されます。枝の成長点が無くなると2つの側芽が頂生側芽となります。



仮頂芽の不思議

枝の先端にあるはずの「頂芽」がなく、脇にある「側芽」が代わりに務める「仮頂芽(かちょうが)」。不思議な仕組みです。なぜ「頂芽」がなくなるのか? 植物の枝が伸びる際、先端には常に新しい細胞を作る「成長点」があります。

<仮頂芽になる理由>

枝の先端の成長を意図的にストップさせます。すると、先端の組織は枯れたり、ボロリと落ちたりして消失します。その結果、一番先端に残った「側芽」が、翌春に一番手として伸びることになり、これを「仮頂芽」と呼びます。

ヌルデ、サワフタギ、ネジキ、ヤマコウバシ、ヤマザクラズミ

頂芽 : 枝の真上に真っ直ぐついている。

仮頂芽 : 枝の先端から少し斜めにずれている。
芽のすぐ横に枝が枯れ落ちた跡(枝痕)があります。
ネジキ、サワフタギ、ズミ、アズキナシ、ヤマザクラ

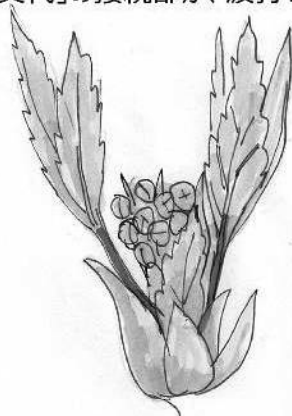
タカノツメ短枝と長枝の組み合わせ

タカノツメの頂芽は「短枝」になります。これでは枝が長く伸びません。などで「頂芽(短枝)」のすぐ下にある「側芽」が次に勢いよく伸びて「長枝」になることがあります。

花が咲いたり短枝になったりすることで、脇芽に主役を譲ります。その「主役交代」の接続部が、波打つような独特の枝を作っています。



短枝の下側芽が長枝として伸びる



アオキ「二叉」の仕組み

アオキの冬芽の中心には「花の蕾」があり、そのすぐ脇に「葉と茎になる芽」が対生(ペア)で準備されています。

春になると中心の花が伸びて咲きます。花が咲くということは、その枝はそこで「行き止まり」になります。

枝の中心が止まるので、脇に控えていた2つの芽が左右に勢いよく伸び出します。その結果、花を真ん中に挟んで、枝が漢字の「父」や「Y字」のような形に分かれるのです。

アオキのすべての芽が二股になるわけではありません。1本や3又も枝もあります。

冬芽いろいろ・おもしろい葉痕①

アオキ  混芽 苞芽	アカメガシワ  裸芽	アオハダ  時に副芽がある	アベマキ  頂生側芽 混芽
アズキナシ 	アラカシ  頂生側芽 混芽	イソノキ  仮頂芽 裸芽	ウメドキ  主芽・副芽(多数) 側枝は短枝化しやすい
エゴノキ  主芽・副芽 裸芽	ガマズミ  頂生側芽 混芽	クロミノシゴリ  仮頂芽	クロバイ  苞芽 花・葉
コナラ  頂生側芽	コブシ  枝を一周する托葉痕 混芽	コバノガマズミ  頂生側芽 混芽	コバノミツバツツジ  混芽
サカキ  苞芽	サワフタギ  仮頂芽	サルトリイバラ  冬芽は葉柄に包まれる	センダン  芽鱗は星状毛に被われる
ソヨゴ  苞芽	ズミ  仮頂芽 混芽	タカノツメ 	ナワシログミ  裸芽
ヌルデギ  仮頂芽 葉柄内芽	ネジキ  仮頂芽 冬芽も枝も赤い	ハリエンジュ  陰芽	ハンノキ  花・葉 花芽は裸芽 側芽は鱗芽

冬芽いろいろ・おもしろい葉痕②

ヒサカキ  苞芽	マメナシ  混芽	マルバアオダモ 頂生側芽  灰色の冬芽	ミツバアケビ  混芽
ミヤマガマズミ 頂生側芽  混芽	ムラサキシキブ  裸芽	モチツツジ  花・葉	ヤマコウバシ 仮頂芽  混芽
ヤマザクラ 仮頂芽  花・葉	ヤマウルシ  裸芽	ヤブツバキ  花・葉	リョウブ  鱗芽→裸芽
葉痕	アオキ 	コブシ 	カクレミノ 
ナンテン 	ヌルデ 	ハリエンジュ 	タカノツメ 
ネジキ 	タラノキ 	ヤツデ 	ヤマザクラ 
アズキナシ 	カラスザンショウ 	イソノキ 	ウリカエデ 